

ブケレ大統領就任1年と2021年選挙

国民からの高い期待と脆弱な政治基盤

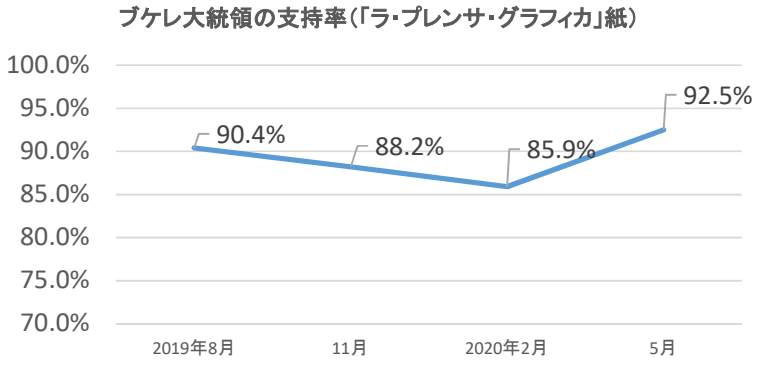
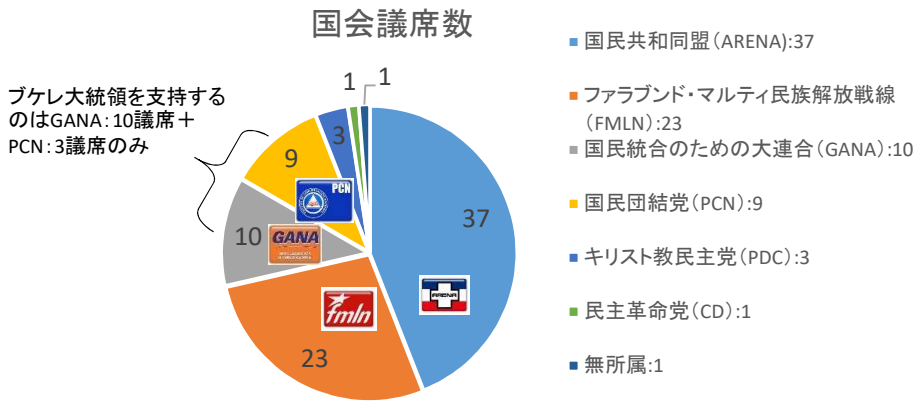
- 2019年2月の大統領選挙で得票率約53%という大勝をもって誕生：
国民からの強い支持・期待
- 全84議席中、自身の政党「Nuevas Ideas:NI」は議席ゼロ：
議会における確固たる支持勢力基盤を持たず

ブケレ大統領の民主制度軽視の姿勢

- 国民からの圧倒的な支持を背景に、国会勢力との対話を促進するのではなく、対立を煽る姿勢を明確に
(ブケレ大統領は2020年7月までに、国会で可決された法案に対し、29の大統領拒否権を行使。歴代最多の大統領拒否権を行使したのはフローレス大統領(1999年-2004年在任))
- 治安対策の予算にかかる借款1億900万ドルの借り入れ国会承認を巡っては、2020年2月9日に、治安当局を動員して国会に圧力をかけ、国内外からの批判を招く
ブケレ大統領によるエルサルバドルの民主制度の軽視の姿勢



新型コロナウイルス(COVID-19)対策でより顕著なものに
(完全自宅待機命令の違反者の身柄拘束及び隔離センターへの収容、違反者の身柄拘束を止めるよう求めた最高裁の判決を無視する姿勢、立法府の権能を侵害する形での一方的な国家非常事態宣言の延長等)



治安対策における成果と課題

- 「犯罪地域コントロール計画」の実行によって、**殺人件数は大幅に減少**
- 行方不明者数は、2016年：1,560名→2017年：1,908名→2018年：2,241名→2019年：3,202名と、ブケレ政権発足以降も減少には転じていない

経済政策：期待と具体性の欠如

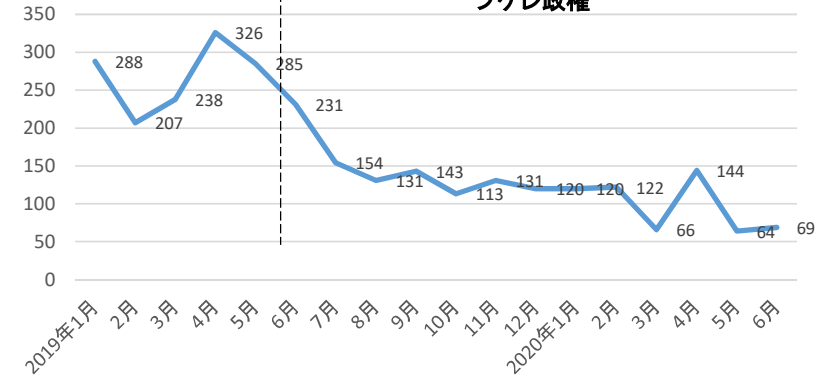
- 歴代政権が5カ年計画を策定・発表し、政権運営を行ってきたのに対し、ブケレ大統領は、大統領選挙の公約集「クスカトラン計画」を基に政権運営を実施
- 2020年1月に「経済テイクオフ計画」を策定する旨発表したものの、7月時点で未発表
- 大型インフラ案件に関し、「クスカトラン計画」で掲げたいくつかの計画をスピード感を持って実現していきたい意向があるものの、いずれも検討・調査段階。経済的実効性にも懐疑的見方が存在

プロ・ビジネスなブケレ政権の誕生に民間セクターの期待は高まっているが、様子見の状況

外交

- 対米関係を最優先**。第74回国連総会において、ブケレ大統領とトランプ米大統領の首脳会談が実現
- 2019年11月、エルサルバドルの大統領として13年ぶりに訪日、安倍総理大臣と首脳会談
2019年12月、中国を訪問。習近平国家主席と首脳会談。両岸関係に関し、「一つの中国」の原則の遵守、「一帯一路」への積極的参加を表明
- 就任1年間でメキシコ、米国、日本、中国、カタールを訪問。いずれも経済協力、投資誘致等の実利的成果を求めたものと考えられる

殺人件数
ブケレ政権



2021年国会議員選挙及び全国市長選挙

- 2021年2月に予定される**国会議員選挙及び全国市長選挙は、その後のブケレ政権の行く末を占う重要選挙**。政治基盤を盤石なものとするために、国会での過半数の議席を狙う

主な日程

2020年3月29日-7月29日	党内予備選挙期間
2020年10月1日-10月9日	立候補届出締切
2020年12月27日-2021年2月24日	選挙活動期間
2021年2月28日	投票日